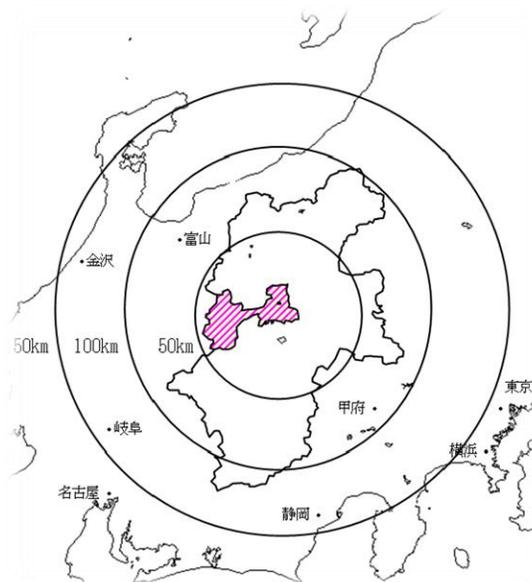


松本市の健康産業推進に関する取組みについて

松本市 産業振興部 商工課

丸山 克彦



- ▶ 人口 23.4万人 (2024年10月・県内2位)
- ▶ 面積 978.47km² (県内1位)
- ▶ 高齢化率 28.7% (2024年10月)

松本市の現状 (特徴)

○産業

商業では、江戸時代から『商都松本』とも称されてきたとおり、中南信の商圈の中心として、大きな商業集積を形成してきました。また、豊富な木材資源を利用したものづくり産業も古くから盛んで、現在は最先端の技術、人材等をもつ精密機器関連企業が集積した部品供給基地となっています。

○学術機関・医療機関

信州大学医学部や松本大学人間健康学部（健康づくりを担う人材育成）、松本看護大学など、市民の健康を支える学術機関が複数あります。

また、人口10万人あたりの一般診療所の数は、84軒(全国平均72軒)、医師の数は、483人(全国平均310人)、病院の病床数は1,478床(全国平均1,166床)と医療機関が充実しています。

(出典：日本医師会 JMAP地域医療情報システム)

医師でもあった当時の市長が2008年から提唱し、松本市総合計画基本構想2020(2011～2020)で将来の都市像として目指してきたもの

“健康寿命延伸都市・松本”の創造

「健康」を、「活力ある超高齢社会の源」と捉える

市民一人ひとりが自立して、健やかに暮らし、そして健康寿命を延伸させることは、世界に先駆けた超少子高齢型人口減少社会を迎える我が国において最も望まれる姿である。

「健康」な地域の具体的な姿

- ① 要介護・寝たきりの人が少ない
→ 予防医療、生活習慣病の改善
- ② 孤立した市民が少ない
→ 社会的な絆の充実
- ③ 活動的な生活を送る人の割合が高い
→ アクティブシニアの活躍



基本方向

健康時から終末時期まで、継続的なケアが担保され、安心して暮らし続けることのできるまちづくり

2013年3月
健康寿命延伸都市宣言

“健康寿命延伸都市・松本”を産業面から支える 「松本ヘルスバレー構想」

市民が健やかで自立し、安全・安心な暮らしを实践

健康意識の高い市民が、直接関わる製品やサービスが生まれ、
官民連携によるヘルスケア産業を創出

⇒ 自立した暮らしを産業が支える「まちづくり」

こうした背景から、更なる雇用・投資・情報等の集積を図り、
地域経済の好循環を目指す。



「暮せば健康になるまち」を目指す

健康産業推進の経緯③

松本ヘルスバレー構想推進の取組み

市長コミット

2008年6月
「健康寿命延伸都市」構想を表明、まちづくり基本方針として市総合計画に反映

産学官連携と情報基盤のプラットフォーム構築

2011年7月
産業創出のための関係者を集結したプラットフォーム「松本地域健康産業推進協議会」を設置
2011年12月
「世界健康首都会議」開催。情報発信と情報蓄積の場を設ける

松本地域健康産業推進協議会



ヘルスケアビジネスの美証、実用化支援
⇒ トライアル事業 100万円助成

情報の集積、発信
世界健康首都会議、健康産業フォーラムの開催など

2021年～
ラボへ機能移転

・・・etc

実証フィールドの形成と健康投資の促進

2014年12月
市民の健康増進と新たなヘルスケアビジネスの実証の場として、「松本ヘルス・ラボ事業」をスタート

(一財) 松本ヘルス・ラボ



アイデア創出支援



エビデンス取得支援



2020年3月の新市長就任を契機に、各種組織や構想の整理を実施

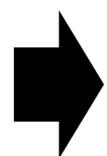
松本市総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）抜粋

目 標

市民と産官学の共創によりヘルスケア分野等の新産業を創出し、
地域経済の好循環を生み出すことを目指す

施策の
方向性

松本ヘルス・ラボを中心とした更なるヘルスケア産業の創出

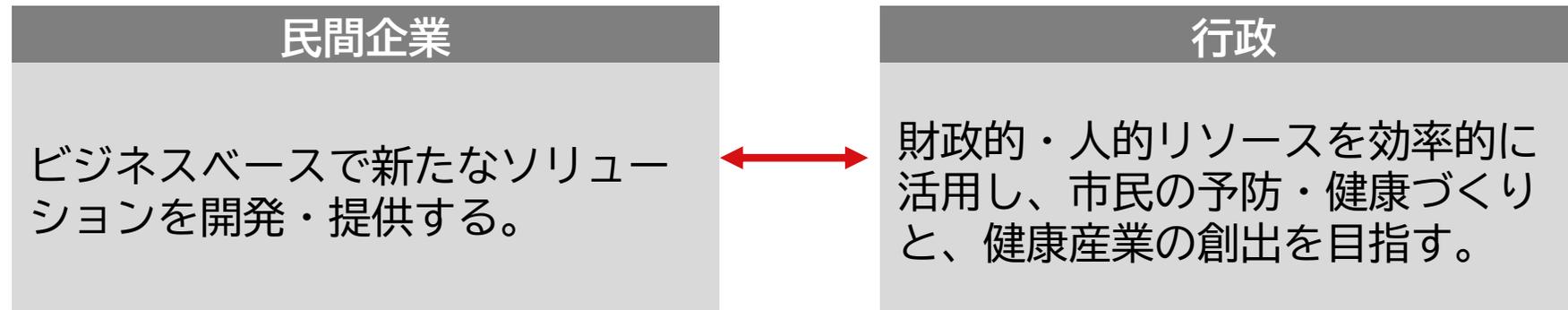


**各種組織の機能を松本ヘルス・ラボに集約し、
一元的に施策を行う**

社会的課題

予防・健康づくり、医療・介護費の適正化、外出機会の創出、生活の質の向上、ソーシャルキャピタルの形成（社会的な絆、地域社会との絆）

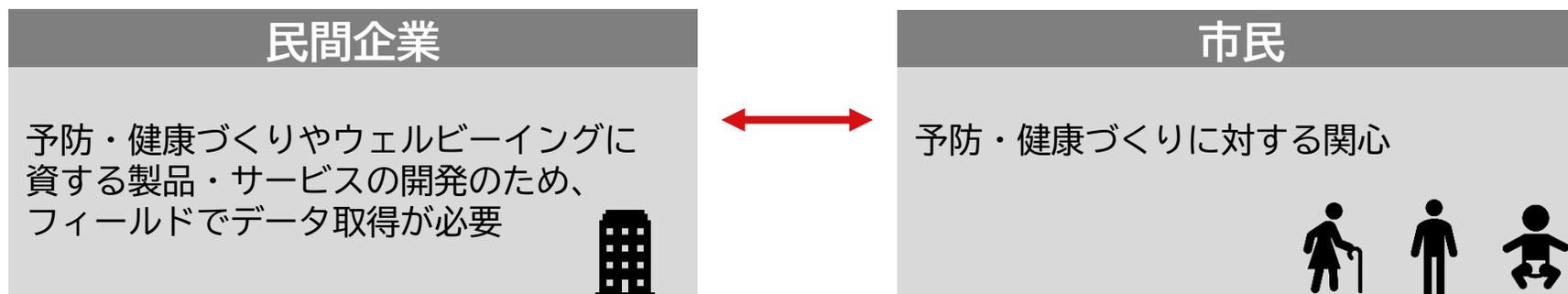
「社会的課題の解決」を共通価値とした官民の連携が重要



官民連携の場として 松本ヘルス・ラボを設立

- ✓ 行政には無いスピード感と自由度で事業を実施
- ✓ 企業の要望に柔軟に応じることができる
- ✓ 行政部門（健康、教育等）と連携しやすい

松本ヘルス・ラボとは、主にヘルスケア製品・サービス開発のために
データ取得が必要な企業と市民会員とを繋ぐフィールド



松本ヘルス・ラボの目的

市民の健康増進・生活習慣の改善及び
企業のヘルスケア産業の創出支援を行うことを目的としています。

※日常生活を送る市民の健康課題を対象にしているため、
疾病のある方への医薬品や医療機器等の治験は対象外

一般財団法人 松本ヘルス・ラボ (2014年任意団体として設立、2016年一般財団法人化)

組織の概要

理事長	松本市長
理事	松本市医師会・松本商工会議所・信州大学・松本大学・松本市など
評議員	長野県・八十二銀行・長野銀行・市民団体・会員代表
拠出財産	3,000万円 (全額 松本市)
所在地	長野県松本市中央1-18-1 Mウイング1階

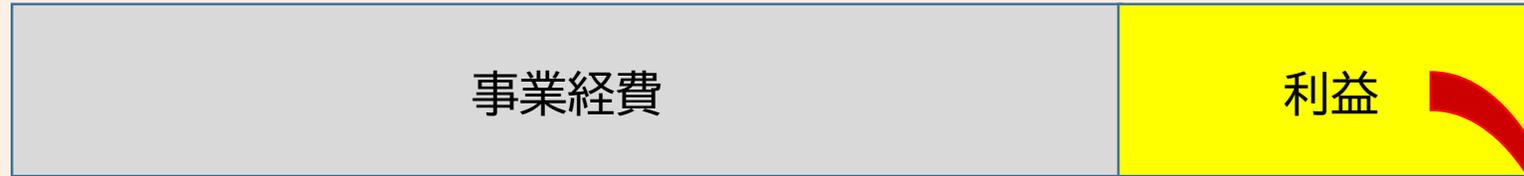
事業の概要

企業受託事業	モニター調査、セミナー実施など
健康増進事業	個人会員、法人会員への健康プログラムの提供

倫理委員会の設置

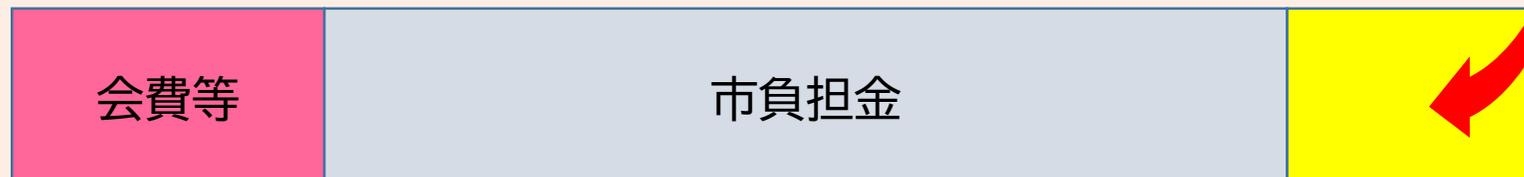
構成	信州大学・松本市医師会・弁護士・県工業技術振興団体・会員代表・松本市
審査のポイント	会員の健康増進への寄与、社会貢献度・満足度、個人情報保護、安全性の担保など

● 企業受託事業（採算性を確保）



● 会員向け健康増進事業

健康の見える化・健康プログラムの提供



補填

健康意識の高い市民＝社会保障費を使わない市民へ

行政コストではなく ➡ 「健康」公共投資 ➡ より多くの市民の参加へ【デジタル化・データ活用】

会員には、基本サービスに加え、健康増進を目的にした有料サービスを用意

個人会員

基本
サービス

体組成、骨密度、血管年齢など各種測定



協賛店割引

協賛店舗での
各種サービス

有料
サービス

健康チェック



セミプライベート
レッスン



健康プログラム

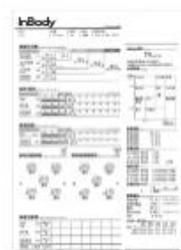


地域企業の健康経営を支援し人材獲得や生産性向上に寄与するため、
法人会員制度を用意

法人会員

出張体組成・骨密度測定

無料
プログラム



体カドック（相澤健康スポーツ医科学センター）や
運動プログラム

有料
プログラム



個人会員数 KPIは2025年度末に会員数1万人を達成すること

会員数：6,839名

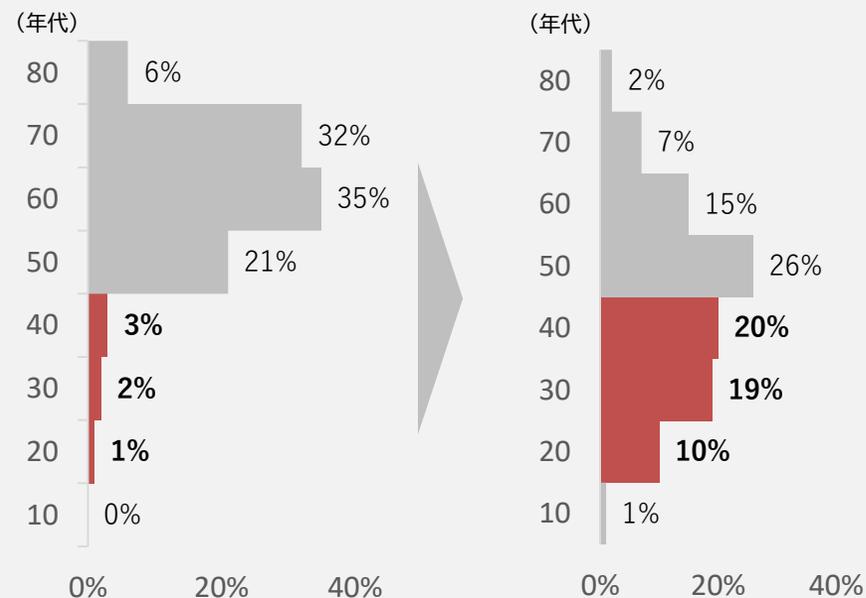
※2024年9月時点

年代	男性	女性	性別回答なし	合計
10	12 0.2%	27 0.4%	2 0.0%	41 0.6%
20	296 4.3%	357 5.2%	47 0.7%	700 10.2%
30	453 6.6%	702 10.3%	116 1.7%	1,271 18.6%
40	548 8.0%	715 10.5%	122 1.8%	1,385 20.3%
50	710 10.4%	975 14.3%	113 1.7%	1,798 26.3%
60	402 5.9%	568 8.3%	51 0.7%	1,021 14.9%
70	184 2.7%	284 4.2%	19 0.3%	487 7.1%
80	56 0.8%	73 1.1%	3 0.0%	132 1.9%
90	2 0.0%	2 0.0%	0 0.0%	4 0.1%
合計	2,663 38.9%	3,703 54.1%	473 6.9%	6,839 100.0%

会員構成の変化

<2016年度 (n=450)>

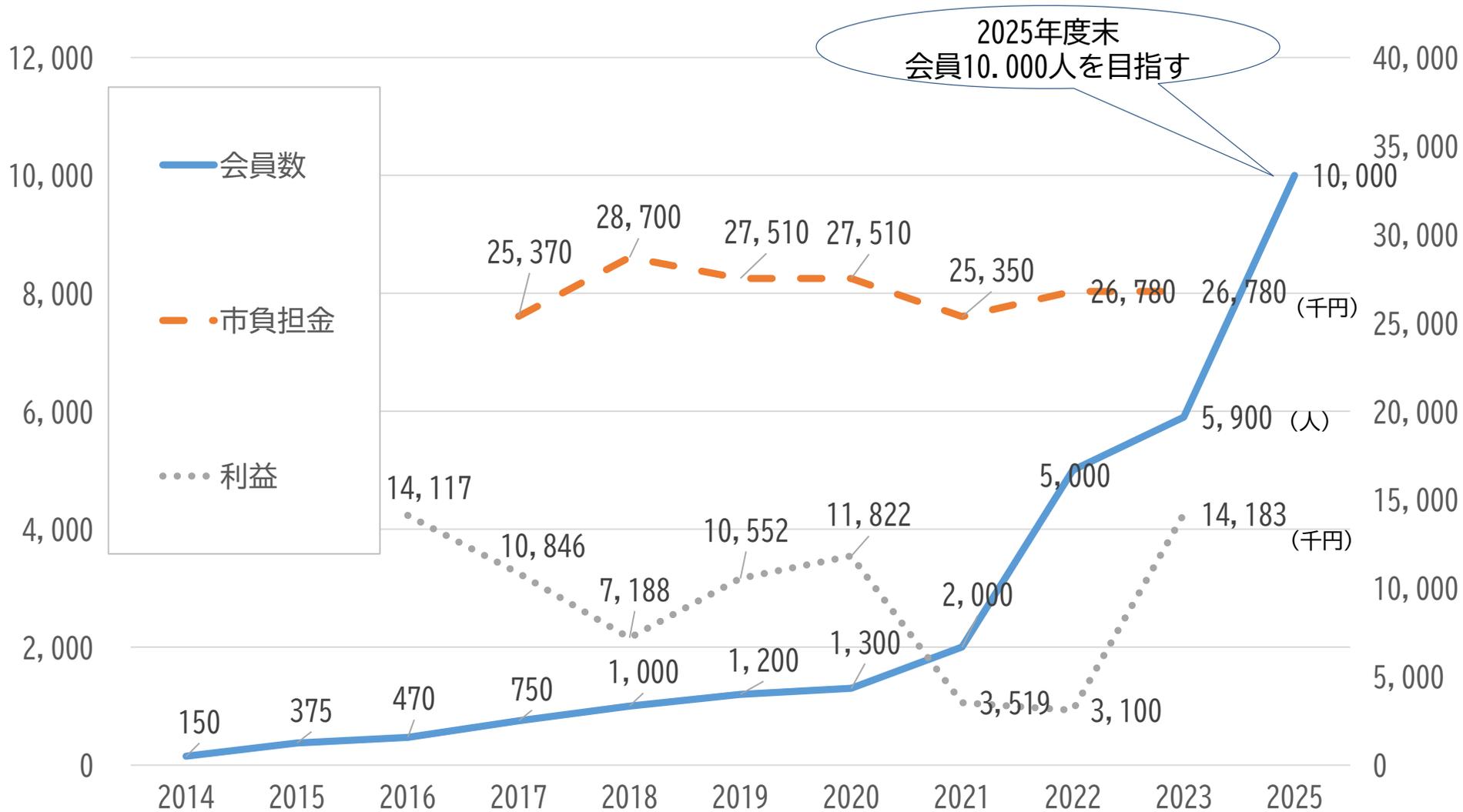
<2024年度 (n=6,839)>



法人会員数

会員数：9社（従業員670名） ※2024年9月時点

会員数、市負担金、収益の推移



※会員数は各年度末時点

公式LINE運用（2024年5月から運用開始）

STEP 01



QRコードを読み取り
LINE友だち追加

STEP 02



トーク画面から会員登録

STEP 03



氏名、生年月日、性別
電話番号を入力するのみ

（主な機能） 1. 健康情報の発信 2. 健康イベント等の情報 3. モニター調査募集・参加登録

企業との連携（モニター調査以外）

- ・公式LINEで健康情報の発信は、会員の健康への関心をより喚起するために、市健康福祉部からの情報だけでなく、企業と連携し、その企業が持つ健康情報を毎月発信しています（現在2社と連携）

- ・「イオンモール松本」様からの委託で「イオンモールウォーキング」と「まなびの健康セミナー」を毎月実施しています。セミナーでは、これまでラボで関わりを持った企業さんなどに「健康」を切り口にさまざまなテーマで登壇いただき、会員および市民の健康意識向上の機会としています。

課題

「さらなる会員獲得」

目標10,000人、現在6,800人

会員が増える⇒市民が健康情報を知ったり、健康づくりの活動に参加する機会が増える
会員が多い⇒より幅広い年齢や生活習慣の市民モニターが参加するフィールドを提供できる

■今後の取組み

モニター調査の拡充

モニター調査への参加をきっかけに会員になる方が最も多いため、今後もさまざまな年代を対象に、調査の受託数を増やしていきたいと考えています。

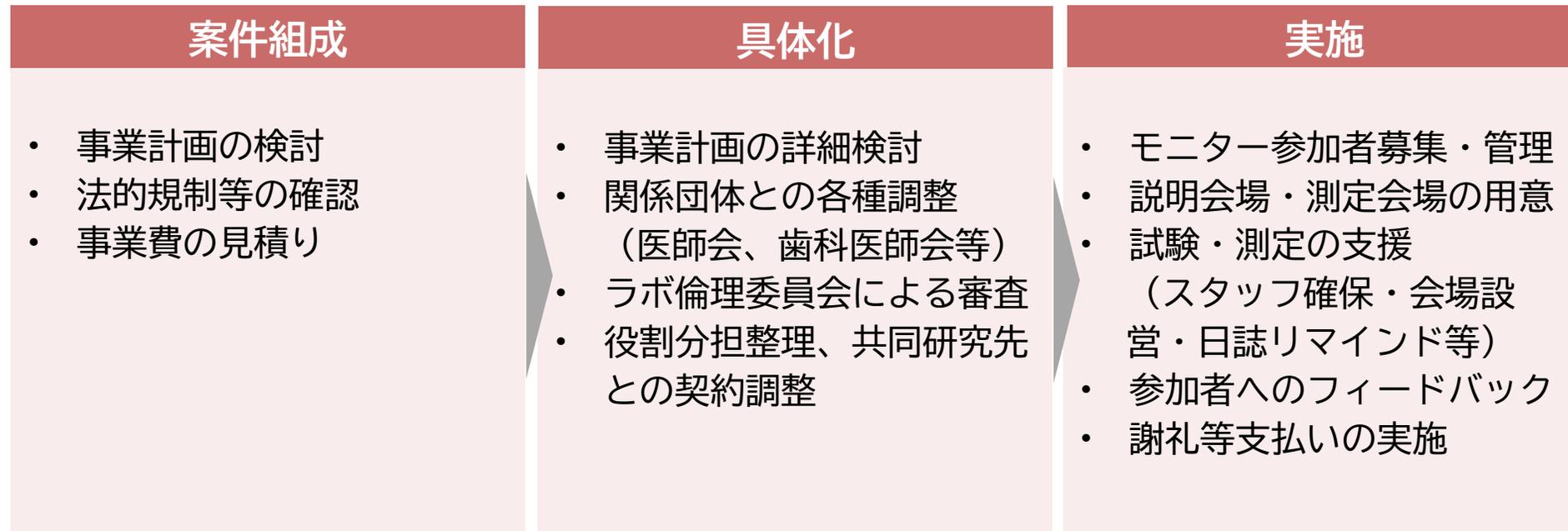
ポイント制度の創設

ラボの事業参加や公式LINEから発信される情報の閲覧に、インセンティブを付与することで、新規会員登録の動機付けや、既存会員の事業参加促進（アクティブ会員増）につなげたいと考えています。

モニター調査について

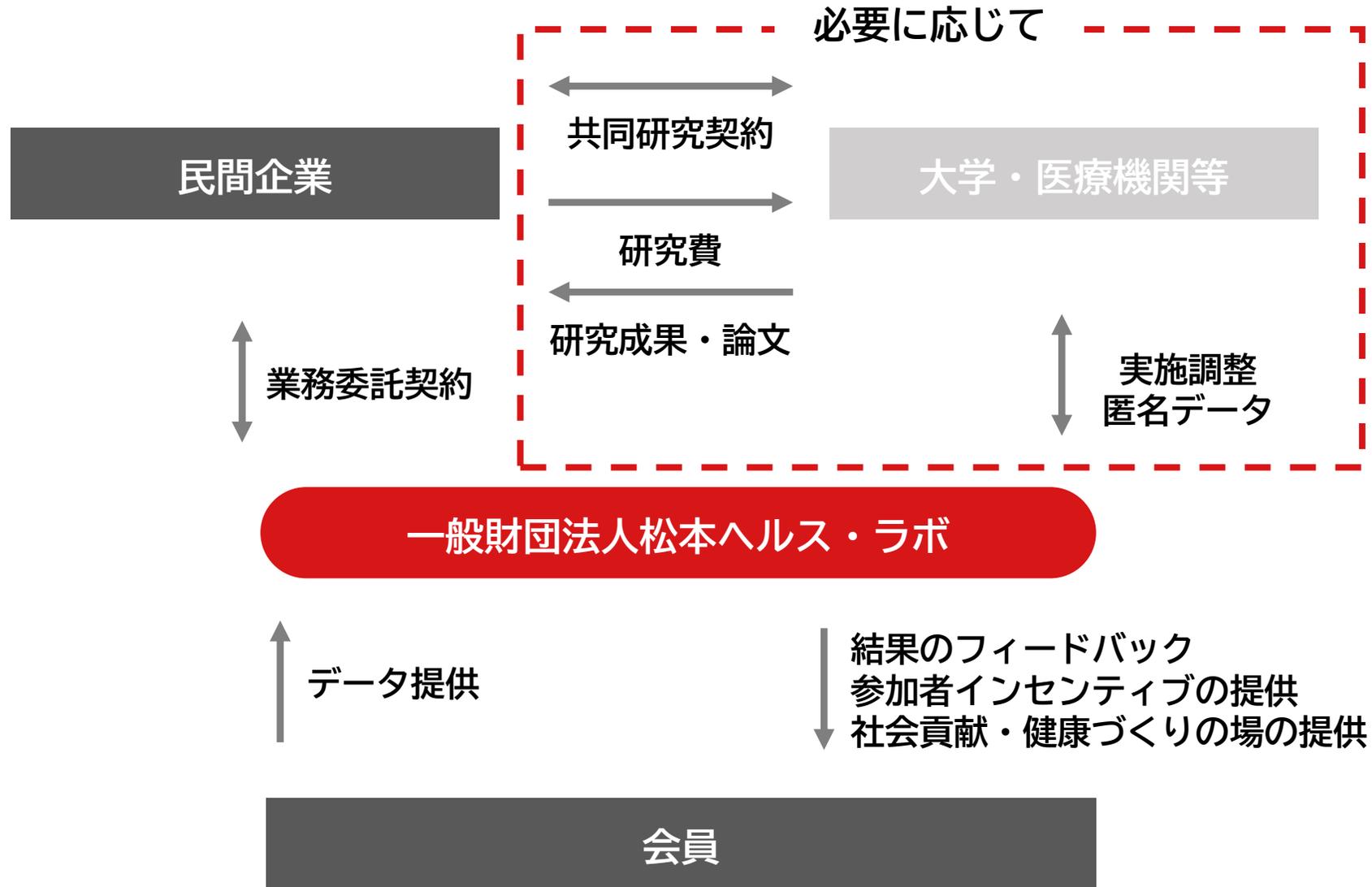
行政と一体となり、
臨床試験・モニター調査における一連の業務を支援します。

松本ヘルス・ラボの役割



実施まで3か月程度
(小規模な調査では1~2か月)

実施期間は
柔軟に対応可能です



事業の具体化に向けたポイント

- 「松本ヘルス・ラボの倫理委員会の審査は必須」
- 一般的な参加者の安全確保や個人情報保護の観点に加え、**研究の社会的意義や市民の健康維持増進効果**なども審査項目としています。

審査項目	ポイント
市民の健康の維持増進及び社会的な意義	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の状態を知り、行動変容につなげるための適切なフィードバックや情報提供 ・要治療者等を発見した場合の受診勧奨
会員の負担度合	<ul style="list-style-type: none"> ・被験者にもたらされる利益と負担
会員の健康面の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・試験食品摂取や侵襲性のある検査に関する安全性（喫食実績や、検査時に対応できる医師の確保等） ・健康被害が生じた場合の補償（PL保険加入等） ・測定会等の感染防止対策
会員の個人情報等の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・匿名による取扱いとその方法
事業計画の質及び透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・研究機関内部の倫理審査
事業計画の実現の可能性、効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール等の具体化
実用化検証で得られた成果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・論文等による研究成果の発表 ・社会実装に向けた行程

機能性表示食品の臨床試験をはじめ、複数の事業実績を有します。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業数	3件	7件	8件	7件	7件	8件	5件	9件
参加者計	約130人	約1,600人	約2,200人	約3,100人	約1,700人	約2,200人	約4,100人	約3,700人

<食品臨床試験の例>

- ◆ 認知機能に与える影響の検証
- ◆ ストレス緩和作用の検証
- ◆ 尿酸値低減作用の検証
- ◆ HbA1c改善効果の検証
- ◆ 口腔の健康維持・改善の検証
- ◆ メンタルヘルスへ及ぼす影響の検証

事業実績①：食事・生活習慣・血圧に関する大規模調査

実施期間	2022年9月～2023年3月
対象者	18歳以上の男女約3,000名
調査内容	<p><WEB調査> 生活習慣と食事（栄養）に関する調査</p> <p><会場調査> 商業施設や企業での血圧測定</p>
参加者へのインセンティブ	<p><個人></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調査結果のフィードバック ② クオカード等の謝礼 <p><法人></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企業ごとの結果を集計、平均値との比較データ提供 ② 従業員向けの無料健康セミナー

松本ヘルス・ラボ

松本地域にお住まいの皆様へ

食事・生活習慣・血圧に関する大規模調査に参加しませんか？



対象3,000人/
あなたの栄養状況が分かる！

気軽に！ Web調査回答

カンタン！ 会場で血圧を測るだけ

<ご参加いただける方>
18歳以上の松本地域にお住まいの方ならどなたでもOK!

特典	<ul style="list-style-type: none"> ① 調査の参加で最大1,000円のギフトカードをプレゼント! ② 栄養調査結果を返信 日々の食生活改善のヒントに! ③ 今後実施予定の血圧に関する食品モニター調査をご案内
-----------	---

参加方法

STEP 1 アプリから参加登録&Web調査回答(約20分)
→ギフトカード500円GET

STEP 2 右記の測定イベント会場で血圧を測定(約15分)
→さらにギフトカード500円GET

測定イベント日程 全日程：10:00～17:00開催

9/30(金)・10/1(土)・2(日)	アイシティ21 (1Fモス&無糖飲料会場)
10/7(金)・8(土)・9(日)・10(月)	イオン豊後本店 (1Fセントラルコート)
10/14(金)・15(土)・16(日)	イオンロード1階本館 (1F無糖飲料会場)
10/21(金)・22(土)・23(日)	イオンモール松本 (東館1Fセントラルコート)

おすすめ 来場前に、参加登録やカンタンな質問に答えるWeb調査を済ませておけば、会場では血圧を測るだけ！
右のQRコードからお進みください。(所要時間20分)
※スマホを持っていない方は、会場にスマホを持って来てください。お申し込みは必ずおこなってください。
※測定イベントへの参加は無料です。Web調査は別途お申し込みが必要です。



問い合わせ [(一)松本ヘルス・ラボ] TEL.0263-39-1139 (平日10:00～17:00)
HP <https://m-health-lab.jp/> e-mail info@m-health-lab.jp

事業実績①：食事・生活習慣・血圧に関する大規模調査

3,000名の参加者を集めるため、商業施設や企業の協力により測定イベントを実施



プロバイオティクスの摂取によるストレス緩和作用に関する研究

実施期間	2017年6月～2018年3月
対象者	大学生108名
調査内容	試験食品またはプラセボを摂取し、 <u>唾液検査・主観的なストレス測定・自律神経測定</u> 等によりストレス緩和作用を検証。

プロバイオティクスの摂取による腸内フローラへの影響調査

実施期間	2018年11月～2018年12月
対象者	70歳以上の男女13名
調査内容	試験食品を摂取し、 <u>採便や排便日誌記録</u> 等により腸内フローラに与える影響を調査。

食品摂取による歯周組織及び認知機能への影響に関する調査

実施期間	2023年6月～2023年9月
対象者	70歳以上の男女70名
調査内容	食品を経口摂取し、採血や歯周検査、質問票等の測定によって歯周組織や認知機能に与える影響を検証する。

乳幼児を対象としたプロバイオティクス摂取による腸内環境及び健康状態に関する調査

実施期間	2023年5月～2023年12月
対象者	5か月齢～3歳未満の乳幼児約100名 ※参加同意は親権者（保護者）の代諾
調査内容	プロバイオティクスを経口摂取し、健常な乳幼児の腸内細菌叢や健康状態に及ぼす影響を採便等により検証する。

市民モニターの良い

健康意識の高い方が多く、
調査完遂率100%を達成できた

母親・乳幼児や働く世代の男性など、
幅広い年代・属性をもっている

行政による支援がある

当社の調査研究に適切なフィールド
を提案・調整してくれた

大学や医師会など、具体的な連携先
を紹介してもらえた

松本地域の産学官ネットワーク

連携／共同研究

医師会、商工会議所、
地域の企業、長野県や
周辺市町村との連携に加え、
地域の大学など
学術機関との共同研究を
コーディネート

行政ならではの多様なフィールド

松本市が企画運営

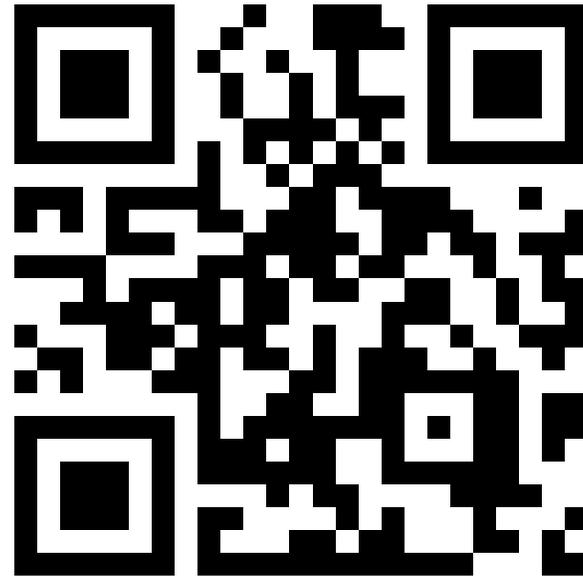
市立病院、保育園、学校等の
行政機関や、
地域の企業と連携すること
で、幅広い年齢や生活習慣の
市民モニターが参加する
フィールドを提供

相談から実施までサポート

50件以上の受託実績

小規模から大規模まで、
これまでの実績を活かし、
アイデアレベルのご相談から
計画立案、倫理委員会審査、
調査実施までトータルで
サポート

松本ヘルス・ラボHP



ご清聴ありがとうございました